



交流人口拡大の新戦略は

芳賀 清 議員

新たな視点で対応する

町長

来迎寺在来種を湧谷町へ

友好協定を結ぶ湧谷町とは人的交流を盛んに行ってきたが、ソバの種子確保のため栽培を依頼できないか。町長 ソバ「来迎寺在来種」は町固有の種として栽培されているが、湧谷の風土にあうか、試験的な栽培は可能と思う。ソバは他品種とすぐ交雑するので、遠隔栽培が必要。湧谷で栽培すれば話題性も大きい。町長 品種が固定するまで時間を要するので、湧谷と調整協議しながら進めたい。

新たな観光振興策

湧谷町長がこのたび遠藤新町長に代わったが、友好交流はどうするのか。町長 友好協定は継続し、交流事業活動はさらに発展充実していきたい。そば・だんごなど食による交流人口は伸びているが、あつまりランドは苦戦している。イベントなどで誘客拡大を。副町長 来客数の減少は人口減少の影響がある。イベント開催との連携は有効なので、割引サービス商品の開発など積極的に取り組んでいきたい。

国際交流協会の設置

今、大石田駅は外国からの旅行者で満杯の状況だ。休眠中の日中友好協会を発展的解消して国際交流協会を設置できないか。

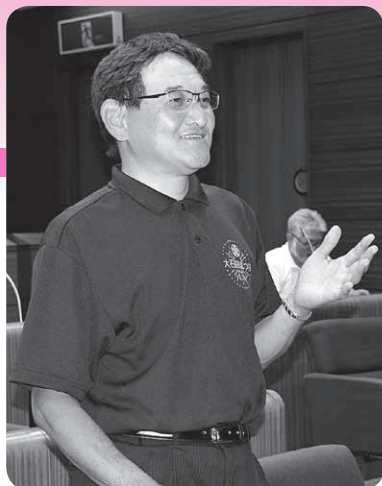
町長 過去に日中親善交流はあったが、活動は停止している。定住人口が減っている中で重要と思うが、新たな設置には時間を要する。

ブラジル移民の父と言われている鈴木貞次郎翁は町出身者であり、海の向こうでは伝説の偉人である。次代を担う子供たちに国際人として活躍する語学教育は。

教育長 英語力の強化は大事で、小学校児童にも教科として取り組むようになる。小中連携の外国語活動プロジェクトや国際理解教育専門員の活用など支援を充実したい。



山形県人会はいつも大盛況（ブラジル 2018・10）



学校教育をどう考える

岡崎英和 議員

総合的なレベルアップを図りたい

教育長

小中学校教育

大きな事故・問題は無いように見えるが。教育長 概ね落ち着いた学習活動を行っていると思える。コミュニティスクールが軌道に乗ってきたのでは。教育長 保護者や地域の方々に、共に育てる意識が定着してきたと思う。課題をあげれば。教育長 個々に応じた学力の向上が必要と考える。具体的には。教育長 読解力の向上に取り組みたい。

児童生徒の人数が減ってきているが。教育長 小規模のメリットを最大限に生かした内容に取り組む。課題解消方法は。教育長 全小中学校が、縦横の連携を深めた学習実践を行いたい。特に中学校は町の代表という意識を持ち、地域や小学校に発信させたい。義務教育のプロとして期待するが。教育長 何事にも経験を生かした考えのもとに取り組む。

生涯学習

町民一人1スポーツ、1芸術の浸透は。教育長 引き続き推進を継続していく。社会環境の変化や少子高齢化の影響は。教育長 町民ニーズが多様化高度化しているのも事実だ。各種行事への参加者が減ってきているのでは。教育長 確かにそうだが、意欲の灯は消えていないと考える。



爽やかな汗、ウォーキングは気持ちいい（会員募集中）

虹のプラザの有効活用は。教育長 生涯学習の拠点となるべく、魅力的な企画事業の開催を進める。総合型スポーツクラブの役割も大きいのでは。教育長 スポーツの担い手としてばかりでなく、地域コミュニティの核としても期待する。

今定例会で教育長に質問が集中した、期待の表れと思うが。教育長 叱咤激励と捉える。ひとつひとつに全力で取り組むたい。



今年も北村山だけ非公認（中学総体陸上）